



鳥取西高野球部

盛大に百歳の記念行事

鳥取一中から伝統を引き継ぐ鳥取西高野球部が、この11月1日、創設百周年を迎え、野球部後援会などで組織した「百周年記念事業実行委員会」が数々の記念行事を多彩に繰り広げました。記念式典をはじめとする行事の概要を報告したいと思います。

(西高6回・前西高教頭 太田垣 清)

「鳥取県立西高等学校・野球部創設百周年記念式典」のつり看板の下で、音楽部女子部員10名の校歌斉唱で開幕。実行委員会を組織する学校(山田董校長、後援会(多久二郎会長)、野球クラブ(OB会・河上台次郎会長)の三者の挨拶に始まり、西尾沼富鳥取市長



力強く述べました。

「(中57回)、米原正博同窓会長、牧野直隆高野連会長のご挨拶や祝電多数が披露されました。いずれも長い歴史と連続と続く伝統、そして多くの先輩の活躍を彷彿とさせるものばかりでした。さらに好ライバルの米子東高主将の西高野球部に寄せたメッセージがあり、西高・清水主将が部活動で学んだこと、先輩部長へ期待することなどを

再び音楽部による「野球部の歌」の斉唱で幕を閉じましたが、終始、厳粛なセレモニーでした。

旧鳥取一中が生んだ往年の大投手・小島多慶男さんが去る9月20日脳梗塞のため急逝されました。86歳でした。謹んで哀悼申し上げます。小島さんは大正15年(同時に昭和元年)、昭和2年と連続して夏の甲子園大会に投手として出場されたほか、明治神宮選抜大会、春の甲子園選抜大会に出場する等、いうならば、鳥取一中第2期黄金時代の前半を飾る、全国に名を知られた大投手でありました。

「(中62回)の歯切れよい発声のもとに、二百余名が一堂に会する大祝賀会となりました。特別招待の広島商OB長老による一中野球に関する思い出(千谷捕手・京谷投手・竹谷中堅手の強豪三谷の話など)や一中11回生の音痴コーラス、一中校歌など、野球で連なる面々が感懐ひとしおの時間を過ごしました。

切扣 佳付 討 山口 (10月27日・布勢球場) 風雨激しい前日と違い、秋晴れのさわやかな天候のもと、中国地方の強豪・広島商高を招待して行われました。越野投手好投するも打線の援護なく、1対2で惜敗しました。

ご冥福をお祈り申し上げます。合掌

鳥城会会員で参院議員・農林政務次官だった吉田達男君(西5回)は昨年の参院選挙で惜しくも次点に立ったが、今年4月、生まれ故郷の鳥取県石浜町長選挙に立候補し、当選した。国会議員から町長への転進は全国的にも珍しいが、本人は「政治の原点に戻って、ふるさとの発展に貢献し、恩返ししたい」と張り切っている。

小島多慶男氏の逝去を悼む

一中44回(昭和7年卒業) 大村 文 士大

旧鳥取一中が創設百周年の大投手・小島多慶男さんが去る9月20日脳梗塞のため急逝されました。86歳でした。謹んで哀悼申し上げます。小島さんは大正15年(同時に昭和元年)、昭和2年と連続して夏の甲子園大会に投手として出場されたほか、明治神宮選抜大会、春の甲子園選抜大会に出場する等、いうならば、鳥取一中第2期黄金時代の前半を飾る、全国に名を知られた大投手でありました。

小島さんは鳥取一中卒業後は同志社高商を経て、戦前最強といわれた実業団チームの一つであった満鉄クラブで活躍され、戦後間もなく東映球団に転じられ、

とって創設百周年の節目に当たり、10月26日、27日の両日、全国から関係者が集まって多彩な行事が行われました。私もその一員として出席して参りました。聞

くところによると、小島さんも、かねて当日の出席を楽しみにし、色々と準備を進めておられた由、返す返すも残念の極みです。重ねてお悔み申し上げ、謹んで

また、今年の記念行事に鳥城会を代表してお祝い金を持っていていただくことになっていました。直前のご逝去はまことに残念でした。

記 念 式 典 演 講

式典後、少しの休憩をはさんで、牧野高野連会長が「高校野球に思うこと」という題で講演されました。奇しくも丁度この日、甲子園大会発祥の地・豊中球場跡地にメモリアルホールが開館し、入口に、大正4年の第1回大会の始球式的情景(ボールを投げる村山朝日新聞社主の左に鳥取中学・鹿野二郎投手が直立する)の銅板が建立されていることなど、鳥取西高と第1回大会とのかわりなどから話が始まり、本題では「複数投手の起用」など、ゆとりの中で高校野球を力説されました。

役員 料 展 覧 (10月26日・県民文化会館 小ホールロビー) 写真、スコアブック、グロブ、ミット、メダル等野球部の歴史を物語る貴重な資料が数多く展示され、活躍した選手達の勇姿や懐かしい猫山先生らの顔写真もあり、それぞれに想いを馳せる懐旧の場でした。

記 念 式 典 祝 賀 員 (10月26日・白鬼会館) 朝日新聞社主の左に鳥取中学・鹿野二郎投手が直立する)の銅板が建立されていることなど、鳥取西高と第1回大会とのかわりなどから話が始まり、本題では「複数投手の起用」など、ゆとりの中で高校野球を力説されました。

その他、野球クラブ物故者追悼慰霊式典が10月27日に行われたほか、覚寺の西高グラウンドに記念モニュメント(作者=福岡敬)

恭氏・西高9回・京都市立芸大教授)の建立、「野球部史・統一」の刊行など、記念事業は多彩に、盛大に執り行われました。



当番幹事をはじめ関係者の御努力に、頭が下がる思いだ。この最高の場所、懐かしい鳥取弁を口にし、耳に出来ると思うと心が弾むのだ。(文・イラストともに 西高9回・篠田 英男記)

総会、帝国ホテルで

11月17日 今年の鳥城会総会は、帝国ホテルで開かれる。あの帝国ホテルで、だ。季節は佳し、場所は最高! さぞかし会費も最高と思つたら、なんと7千5百円と格安だ。

鳥城会OB

町長で復任 鳥城会会員で参院議員・農林政務次官だった吉田達男君(西5回)は昨年の参院選挙で惜しくも次点に立ったが、今年4月、生まれ故郷の鳥取県石浜町長選挙に立候補し、当選した。

進は全国的にも珍しいが、本人は「政治の原点に戻って、ふるさとの発展に貢献し、恩返ししたい」と張り切っている。

(西5回・林田 達郎記)

囲碁は 分野拡大に期待 大健闘

〔レクリエーション活動報告〕

副会長・レクリエーション担当 杉村 公美

会員の相互理解の場となるレクリエーション活動の役割は大きい。鳥城会で最も活発なのは囲碁だが、こちらは鳥取県人会開基大会にまで発展してきた。喜ばしい限りである。残念ながら、ゴルフ、麻雀、グレルメの会等の活動は長続きできないでいるが、可能なものから趣味の会の分野を広げ、鳥城会の活性化に貢献したいと考えている。

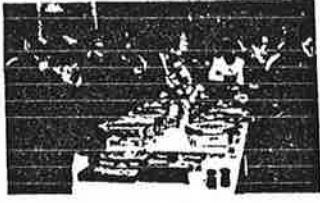
平成8年現在、登録され、開基した。好評に浴びて増加した。毎年恒例の囲碁大会は今年も5月17日に日本棋院で開かれ、参加者は22名。2段以上のA組では田中丈雄氏(西高5回・6段より7段に昇格)が、初段以下のB組では松田義人氏(一中58回・初段)がそれぞれ優勝の栄冠を獲得した。

期別の活動を拝見

前号に引き続き、卒業年次別の同窓会の動きを紹介いたします。

東京を満喫 全国同窓会

秋も盛りの10月21日、眼下に素晴らしい。百万ドルの夜景を見下ろす新宿野村ビル48階の野村クラブで「鳥取一中61期同窓会」が開かれた。東京で全国規模の同窓会が催されるのは2回目。鳥取、近畿地区の仲間も加えて総勢30人が集まった。



開催に至るまで、関東地区会長の村野兼雄、幹事長の山根正明、幹事役の浅田隆造、中野純、米村恒義、それに横山豊の6人が何回か会合を重ね、いかに「東

京らしさ」を演出するかに知恵を絞った。新宿・摩天楼に会場を斡旋してくれたのは浅田幹事。米村君は当日、鳥取から一番機で上京した松田信雄同窓会長(元西高校長)ら一行を迎え、寅さんブームにわく柴又・帝釈天に案内して絶好の秋の一日を楽しんでもらった。

同窓会で言えば、たちまち久松山下での昔に帰り、話は尽きない。カラオケ大会では、ナツメロとともに貝殻節や一中応援歌も飛び出し、今宵ばかりは時の経

とともに麻雀そのものが衰退しつつあり、大会も昔話になりがちだが、顔を合わせるには絶好の会合ではないか。

ゴルフ大会は過去に1回開催されただけで終わっているが、今も同好の方々誘い合せて技を競っておられることに変わりない。いつか鳥城会の大会が再開される日を期待してやまない。

参加して開かれ、優勝の栄冠はこんどは西田俊夫2段(鳥城会・西高4回)の頭に輝いた。

因みに平成5年に会員から趣味の会についてアンケートを頂いたことがある。当時、囲碁36名、麻雀28名、史跡巡り41名、ゴルフ63名、グレルメ22名、カラオケ7名のほか、読書、謡曲、観劇、カメラ、

その⑤

二次会は、東京の新名所となっている「恵比寿ガーデンプレイス」に繰り出して、煌々たる夜を眺めながら夜更けの酒を飲んだ。

忘れ去られた。宴は大変に盛り上がった。

お土産も東京名物・栄太楼始まった。

「会えばすぐ話はじけて風仙花」

(幹事・横山記)

西高2回 恩師を迎え 45周年祝う

西高2回卒業生45周年記念同窓会が10月5日、鳥取駅前ニューオータニ鳥取

に地元、東京、大阪などから80人弱を集めて盛大に開かれた。恩師の岡田昇、早川竹義両氏を迎え、ある人は45年ぶりの再会を喜び、またある人にとっては最新の情報交換の場となった。

我々の時代は、旧制中学に入学し、途中で学制改革や学区制の制定に苦しみ、また旧鳥取一中の校舎に6年居ながら、入学から卒業までの間に校名が4回も変わる始末でした。

終戦後の混乱期に中学・高校時代を過ごし、卒業後はそれぞれの進路を歩んだ我々も、はや還暦の歳を4年も過ぎています。久しぶりに会う旧友だけに、懐かしい思い出話や、なぜ母校の野球が強くなるののだろうか等話題は尽きず、2時間があっという間に過ぎました。解散後は二次会

鳥城会事務局長を担当していただきました三浦三郎副会長(西高5回)のご都合により、この度、短期間になると思いますが、清水紀代志(西高9回)が再度、事務局長をやらせていただくことになりました。長い間大変お世話になりました三浦副会長やスタッフの松本正雄様をはじめ、御協力と御理解をお願いします。

「会えばすぐ話はじけて風仙花」

清水 氏 清水総合法律事務所内 (下記の地図参照)

電話 03(3564)0171

Fax 03(3564)0174

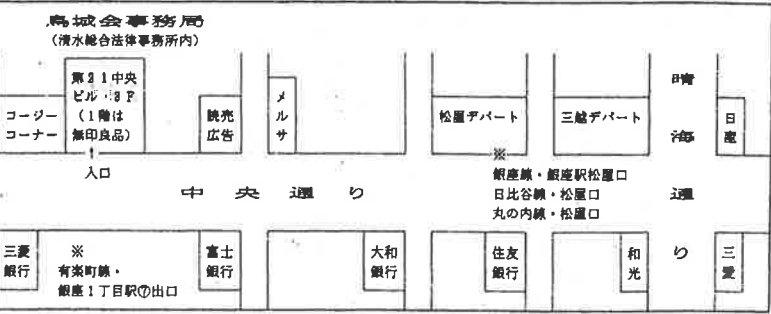


清水 氏

清水総合法律事務所内 (下記の地図参照)

電話 03(3564)0171

Fax 03(3564)0174



◇発行所 鳥城会事務局 03・3564・0171

に行くもの、再会を約して別れるものとまちまちですが、3年後に大阪で再会することとして同窓会は盛会のうちに終わりました。(幹事・藤谷 慈男記)